

育が重要だと言われながらも、それを担う社会資本が整備されていなかった当時と比べると隔世の感を禁じ得ませんが、障がいに対する理解が世間全般に浸透している状況とは言えません。インクルーシブ教育は共生社会実現のための入り口にすぎないと思っています。🍀



新年度を迎えて ～法人内各施設より～ その3

令和5年度を迎え、4月号5月号に当法人内の各事業所の管理者のご挨拶を掲載しました。今月は、法人事務局より管理者のご紹介をいたします。

法人事務局

副理事長 兼 事業統括 上宮 俊一

☆マイブーム(趣味や最近ハマっていること等):
before ギター、after 三線



皆さんのお蔭をもちまして、入職2年目となりました。この1年間はまさに怒涛の如く過ぎ去り、我武者羅であったがために周囲の方々にも多大なご迷惑をおかけしたと自覚しております。2年目の抱負としては、親

の会活動を含め、魅力ある取り組みの推進と広報活動の強化です。

スウェーデンの環境活動家グretaさんは「何もしていないのにあたかも何かをしたようなことを言うのは最も罪深い」という名言を残しておられます。大阪は成長していないのにあたかも成長しているように宣伝する政治家を彷彿させますが、反対に、「いろんな取り組みをしているにも関わらず、派手な宣伝をしていない」育成会はあまりに慎ましく、その弊害が知名度の低下と利用者の減少につながっていると感じています。

全国ネットワークをもつ育成会ならではの実現できる取り組みは、たくさんあるように思います。例えば、来るべき南海トラフ地震に備えて何かできないか？私は阪神淡路大震災、東日本大震災の2度にわたり、避難所に入ることでできない多くの障がいのある方にお会いしました。そこで、鳥取県智頭町で取り組まれているような疎開保険のような仕組みが、育成会のネットワークでできないか？考えています。具体的には、地震や豪雨などの災害が起こった時に避難・生

活場所を提供する事業で、知的障がいについて理解のある家庭が自宅(あるいは所有する不動産)の一部あるいは車などを被災者家庭に一定期間(1週間程度)貸し出すようなシステムをつくることできないか？思案中です。この記事をお読みの他県の方！連絡お待ちしております。このような目論見は数ある思いつきのうちのひとつです。今年度は、形あるものを一つでもいいから実現化していこうと思っています。2年目も我武者羅です！！

法人事務局 事務局長 飯塚 聡

☆マイブーム(趣味や最近ハマっていること等):
空手道(型の順番が覚えられずに難儀しています)



新型コロナは発生から約3年が経過しました。

5月の連休では各地で観光客も戻ってきたといった報道もあり、徐々にコロナ禍前に戻りつつある状況です。

大阪市育成会では、今年3月に近畿リーダー養成研修を開催し、テーマを「市町村の育成会の活性化に向けて」としました。

研修会では、育成会のような当事者団体や子ども会のような地縁団体は、高度経済成長期やベビーブームといった社会情勢の変化も相まって拡大をしてきましたが、その後のバブル経済の崩壊や少子化といった変化に対しても変化を嫌い、従来通りの形態で事業実施をしてきたことで、会が縮小してきている状況を踏まえ、今後はどのように会活動を展開していくかといった内容でした。

そこに新型コロナが広がったことで、人との繋がるのが敬遠されるようになりました。この影響は「つながり」を大事にしてきた当事者団体や地縁団体にとって大きく、平時であっても縮小していたところに、コロナ禍を経て価値観が変化したことで、当事者団体や地縁団体の運営方法について考えなければならぬ転換点に来ていると思っています。

社会全般が変化していますが、福祉的課題がある方にとっては「つながる」ことも必要なもので、地域の中で孤立しないように、当事者団体や地縁団体では残す必要があるところは置いておきながら、やり方を変えていく必要もあるかと思っています。

今年度では、これまでのやり方と新たなやり方を併存させながら、次の世代も参加しやすいような仕組みを考えていく年度にしたいと思っています。